

メディア・ソフト研究会（第6回）

議事要旨

1 日時 平成22年3月23日（火） 15:00～17:00

2 場所 総務省10階 第一会議室

3 出席者

（1）構成員（五十音順、敬称略）

雨宮俊武、市川健、馬野耕至、音好宏（座長代理）、神谷寿彦、福田淳、三友仁志（座長）、和田仁

（2）総務省

高田情報通信政策研究所調査研究部長、東川情報通信政策研究所主任研究官、原田情報通信政策研究所研究官

4 議事

（1）事務局説明

（2）議論 メディア・ソフト報告書案について

5 議事要旨

【事務局説明】

○ 事務局より資料6-1「メディア・ソフト研究会報告書（案）」を説明。

【ディスカッション】

- 報告書案について、ご意見をいただきたい。
- 図表で不鮮明なものがあるので、修正いただきたい。
- 図表の出典表記については、資料名など原典まで記載していただくと利用しやすい。
- 47 ページで「新聞社も多い」という記述があるが、実数としてはそれほど多くはないので、「新聞社も少なくない」として欲しい。
- 図表 1-22 で、「■日本向けのチューニングが課題」とある。これはKDDIとして捉えている課題であり、報告書では不相当だと思うので削除いただきたい。また、それにあわせて本文も「オペレータパックの搭載などによる」を削除いただきたい。
- 70 ページに中古ソフトの記述があるが、「なお」以降の文章が難しいので分かりやすく記述して欲しい。
- フローとストックのコラム（95 ページ）に新作等の数字が掲載されている。これについては、合計と割合を載せて欲しい。制作したソフトはアセット（資産）となる。このアセットバリューの評価が大事であり、土地をたくさん持っているのにそれを活用できるかどうか、たくさんのソフトを作って財産にできるかどうかをコンテンツ力を測る指標となりうる。
- メディア・ソフト調査もフローを測ってきたが、ストックにも注目する必要があるだろう。今後

の研究テーマとなるだろう。

- 映画業界にとって DVD は土地活用した例である。ハリウッド映画が 7 万タイトルあり、郊外店では 2 万タイトルの品揃えがあるとされている。こうした数字に今後の事業を考えていくうえでのヒントがあると思われる。
- 図表 3-9 の「新聞社」の内訳は、「販売」と「広告売上」でよいか。
- （事務局）「販売」と「広告売上」である。分かるように記述したい。
- 第 4 章の流通量のところ、テキスト系ソフトの流通量の頁数が「B5 換算」となっているが、単位等があるのか。
- （事務局）新聞、雑誌等については、B5 版としてワード数等で換算している。注釈をつけたい。
- WiMAX の記述（97 ページ）で「広域化とモバイル化」とあるが、広帯域ではないか？また、モバイルのことを記述している箇所なので、モバイル化は不要ではないか。
- （事務局）WiFi よりもエリアが広がるということで「広域化」とした。また、「WiFi がスポットであるのに対して面的になった」という意味で「モバイル化」とした。
- IPv6 の記述（99 ページ）では、アドレスが枯渇する時期を本文にも記述した方がよいのではないか。
- 総務省として時期を明確にできないということであれば、「〇〇といわれている」という表現でも良いのではないか。
- ライフスタイルの変化（104 ページ）は、経済環境の悪化だけが原因ではないので、修正してはどうか。
- テレビは新聞などの利用スタイルの変化は世代間の差が大きいので、そうしたことを本文で書いて欲しい。
- コンテンツの流通促進と違法ソフト対策については、政策的取り組みだけではなく、流通に携わる事業者など民間も含めて多面的に取り組んでいくことが必要だと考えている。
- では、報告書全体を通しての意見をいただきたい。
- 研究会の目的とサマリを示した序文を追加して欲しい。
- 報道発表ではキャッチコピーを 3 ないし 5 示すとよい。研究会で分かったことは、完成したソフトを買うという意味で、従来、パッケージは前払いだった。それが、都度払い、すなわち後払いになって、無料メディアが可処分時間を喰ってしまうようになったということ。
- 「共有化」というか、若い人たちは友達と同じものを共有したいということがあると思う。地デジのコストが掲載されている（22 ページ）が、後半とのつながりが分かりにくいので、少し記述を見直すとよいと思う。
- 地デジによって、周波数を余らせることができた、新しいサービス展開ができるようになったなど、説明があったらよいのではないか。
- 意見は大体出尽くしたように思う。報告書の修正は座長に一任いただきたい。

【閉会】

- （事務局）意見を反映させて報告書を完成させて報道発表すること、本研究会を受けて市場

規模等の計量を行うことについて説明。

以上